

# 晴れやかに二十歳の 門出を祝う



—平成二十年南丹市成人式—

▲成人の誓いのことばを述べる湯浅昌慶さん（左）



▲代表して記念品を受け取る岩佐知佳さん（左）

一月十三日、南丹市成人式を南丹市園部公民館で行いました。式には三百二十六人の新成人が出席し、晴れやかに門出を祝いました。

今年の成人式の対象者は、昭和六十二年四月二日から昭和六十三年四月一日生まれで、南丹市内に住所のある方、四百六十八人（園部町二百七十八人・八木町八十九人・日吉町四十九人・美山町五十二人）を招待したほか、南丹市内の小・中学校の卒業生や、南丹市から転出した方で南丹市での成人式を希望される方なども対象としました。

式典には、京都府や南丹市議会など多くの来賓と、小・中学校時代の担任の先生方など多数が出席され、新成人を盛大に祝いました。



▲久しぶりの再会に会話がはずみます

式典では、齊藤進市教育委員会教育委員長の開会宣言の後、佐々木稔納市長が「ふるさと南丹市に愛着を持ち、積極的にまちづくりに参加してください。みなさんの若い力に大いに期待しています」と式辞を述べました。また、出席した新成人に南丹市から記念品を贈りました。

最後に、新成人を代表して湯浅昌慶さんが「しっかりと

成人に  
なった感想を  
聞きました

大人として、自覚と責任のある行動をし、これからもふるさとを大事にしていきたいです。



若江 友美さん  
(美山町)

小学校で働いています。子どもたちが元気に成長できるまちづくりを応援したいです。



八木 加奈江さん  
(八木町)